

平成29年度「あ・は・も」の力育成アクションプラン

～ みんなが資源・みんなで支援 ～

「自分を誇れる塩川小児童」「地域に誇れる塩川小学校」

気持ちが伝わるあいさつができる子ども

- あいさつの「意味」を考えさせ（あいさつの意義を教える）、実践化を図る。
 - ・ 作文、意見文、詩、標語など、各学年の実態に応じた活動を工夫し、あいさつする意味を理解させる。発表や掲示で意識の強化を図る。
- あいさつの「よさ」について、感じたことを発表し、実践化を加速させる。
 - ・ 朝の会や昼の放送、集会の場で発表する。
- 「あいさつ運動デー」や「表彰」を短期間で、定期的を実施する
 - ・ 各教室を回ったり地区を回ったりする。

考えや想いを発表できる子ども

- 話し合い型のマニュアルを示し、話し合いの仕方を身に付ける。
 - ・ ペア学習を適宜取り入れる。
- 「なかたくタイム」で、自分や友達のよさ・がんばりを発表し合う。
 - ・ 全校放送で紹介する。
- 条件作文の課題やノー原稿での発表を奨励する。
- 塩川小授業メソッドを活用し、思考・判断・表現する場を充実させる。
 - ・ 書く（考えを持つ）→ペアで話す（考えを明確にする）→話し合う（考えを広める・解決する）→まとめる（振り返る）「まとめ」の際は必ずペアを取り入れる。

目標を持って努力し、やり遂げる子

- 目標カードを活用し、その発表を通して、目標を持って取り組めるようにする。
- 「チャレンジカード」を活用し、目標を持って取り組めるようにし、達成感・成就感を味わわせる。
 - ・ 表彰や検定を行う。
- 合格賞状を与えたり掲示したりして意欲を持続・高揚させる。

※ 校内外に、「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」を掲示する。

一事徹底・凡事徹底

プライド教育

R（PDCA）サイクル

「全ては子どもたちのために」「肯定的な働きかけ」